

国際生活機能分類(ICF)を活用した 難病患者の機能障害データベースの構築

春名由一郎¹⁾, 青林唯¹⁾, 清水亜也¹⁾, 氏平竜太郎¹⁾, 春名めぐみ²⁾

1)独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター

2)東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学科



背景

- 現在、治療・疾病管理技術の進歩等により、難病患者の少なからずが、疾患を抱えながらの就職や職業生活の維持を課題としている。
- 疾患の治療に関する情報と、生活機能の情報を包括的に扱うことが重要である。
- WHOが2001年に発行したICFは、生活機能 (Functioning) と障害 (Disability) に関する情報を記述するためのものであり、疾患情報を記述するICD-10を補完するものとされている。



目的と方法

- 目的： 難病患者の生活機能 (Functioning) と障害に関する情報をICFを用いて体系的にデータベース化すること
- 方法： 難病等の各疾患の病型や重症度別に、心理的・精神的・解剖的な変化(「機能障害」、活動や社会参加上の困難(活動制限 / 参加制約)について、文献情報をもとにコーディングし、データベースのプロトタイプを構築した。



成績

1. ICFによるコーディング時の課題と対応

疾患情報とICF情報の関係：データベースの基本構造 ()

ICFコーディング規則の拡張 ()

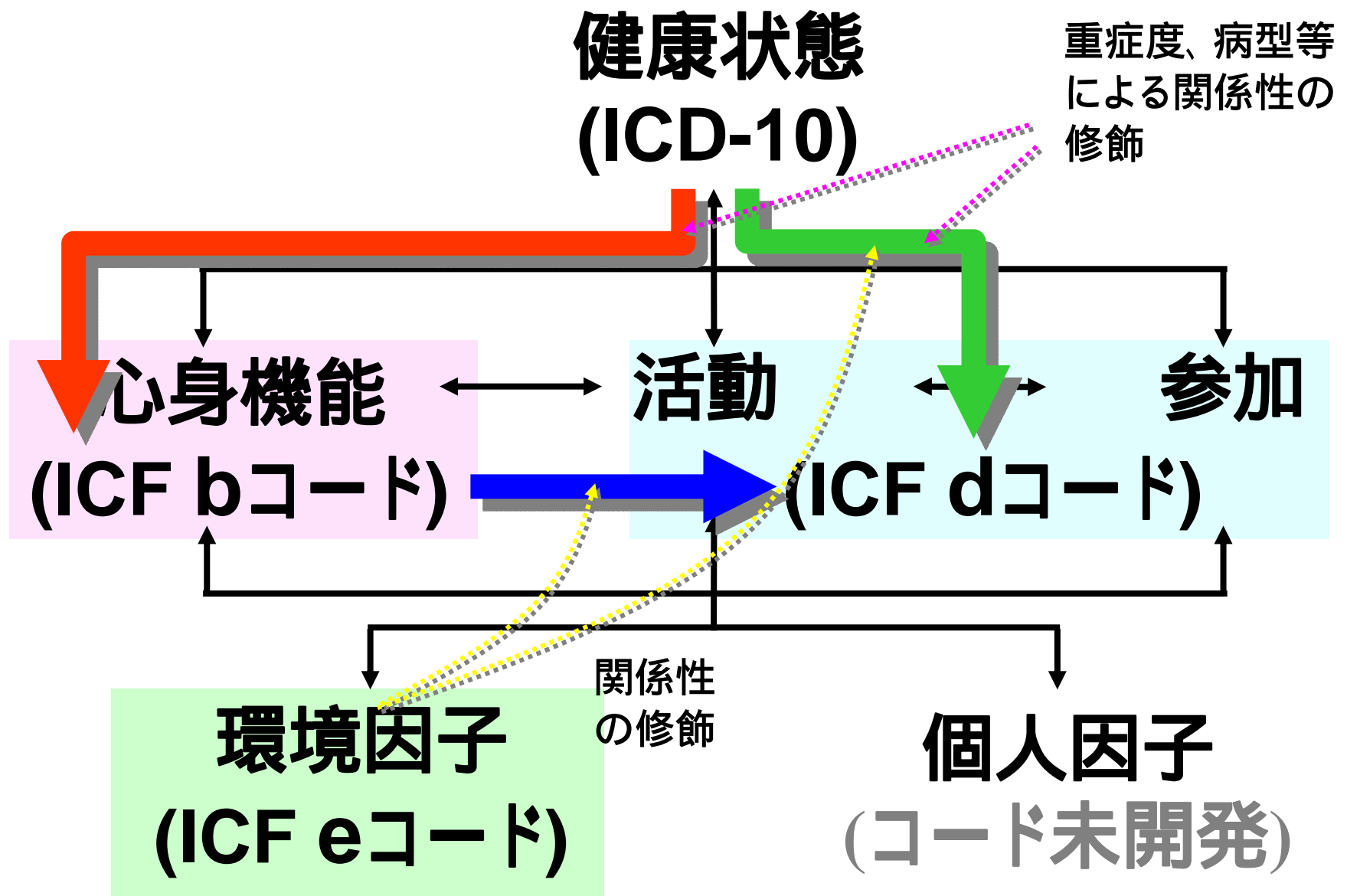
2. データベース活用時の課題と対応




チェックリストとしての活用 ()

支援データベース等との一体的活用 ()

疾患情報とICF情報の関係

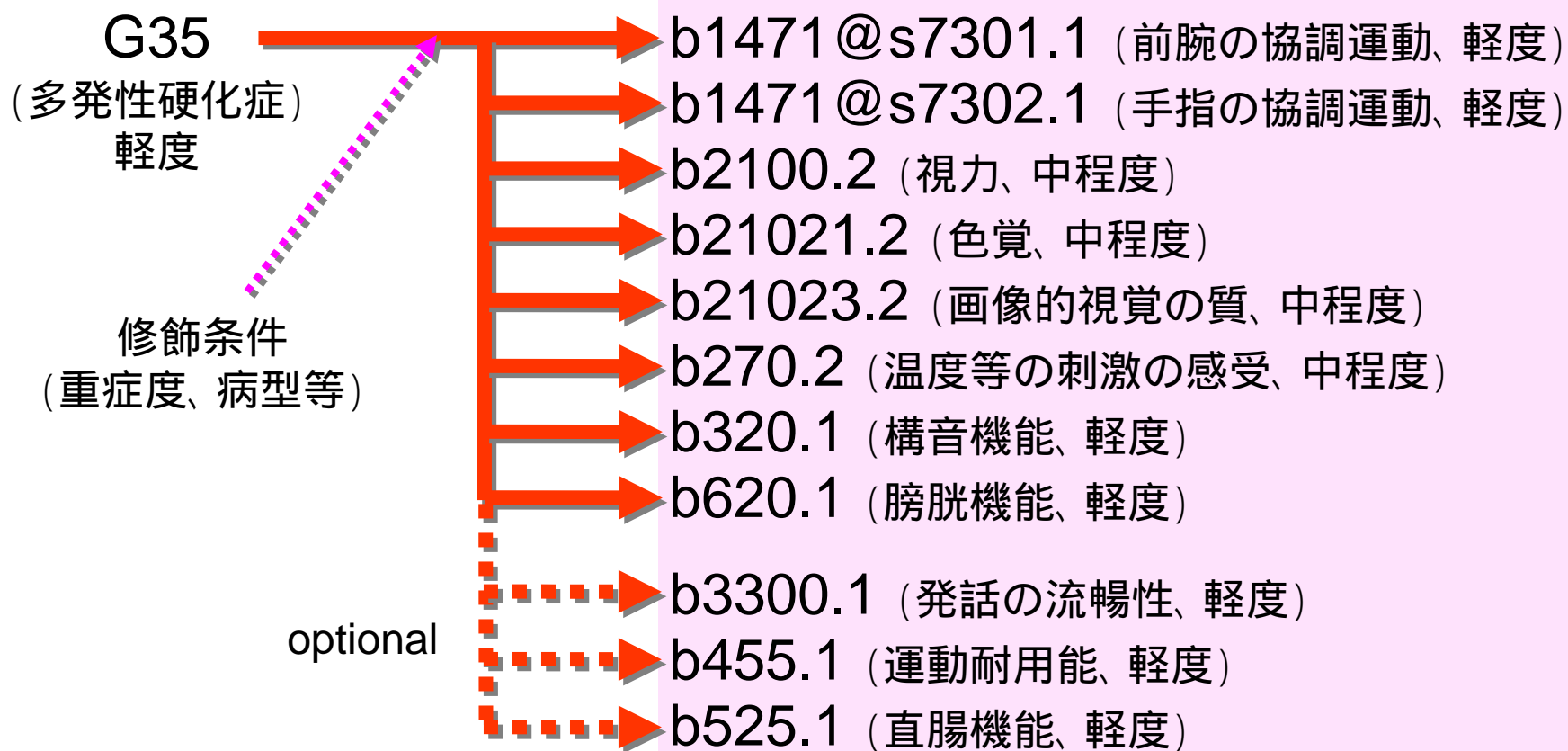
-データベースの基本構造-



-  疾患特有の機能障害
-  疾患特有で機能障害によらない活動制限 / 参加制約
 - 疾患管理上の活動上の制限事項、偏見・差別等による参加制約、等
-  機能障害による活動制限 / 参加制約 (疾患は不特定)

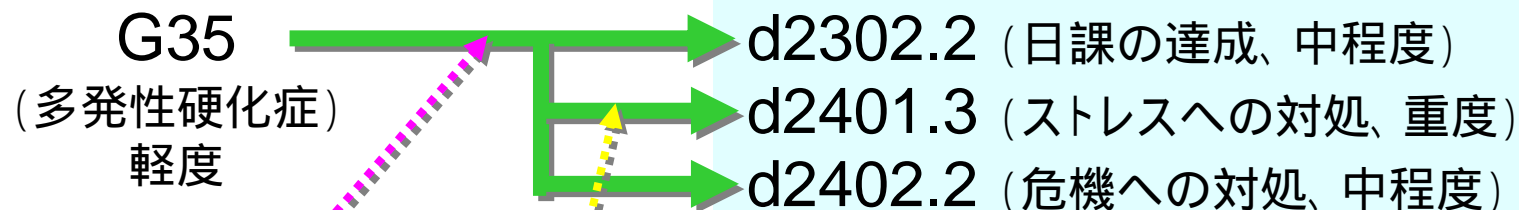
疾患特有の機能障害のデータベース(例)

• ICD-10コード(一) 対 ICF bコード(多)



疾患特有で機能障害によらない活動制限 / 参加制約のデータベース化(例)

- ICD-10コード(一) 対 ICF dコード(多)



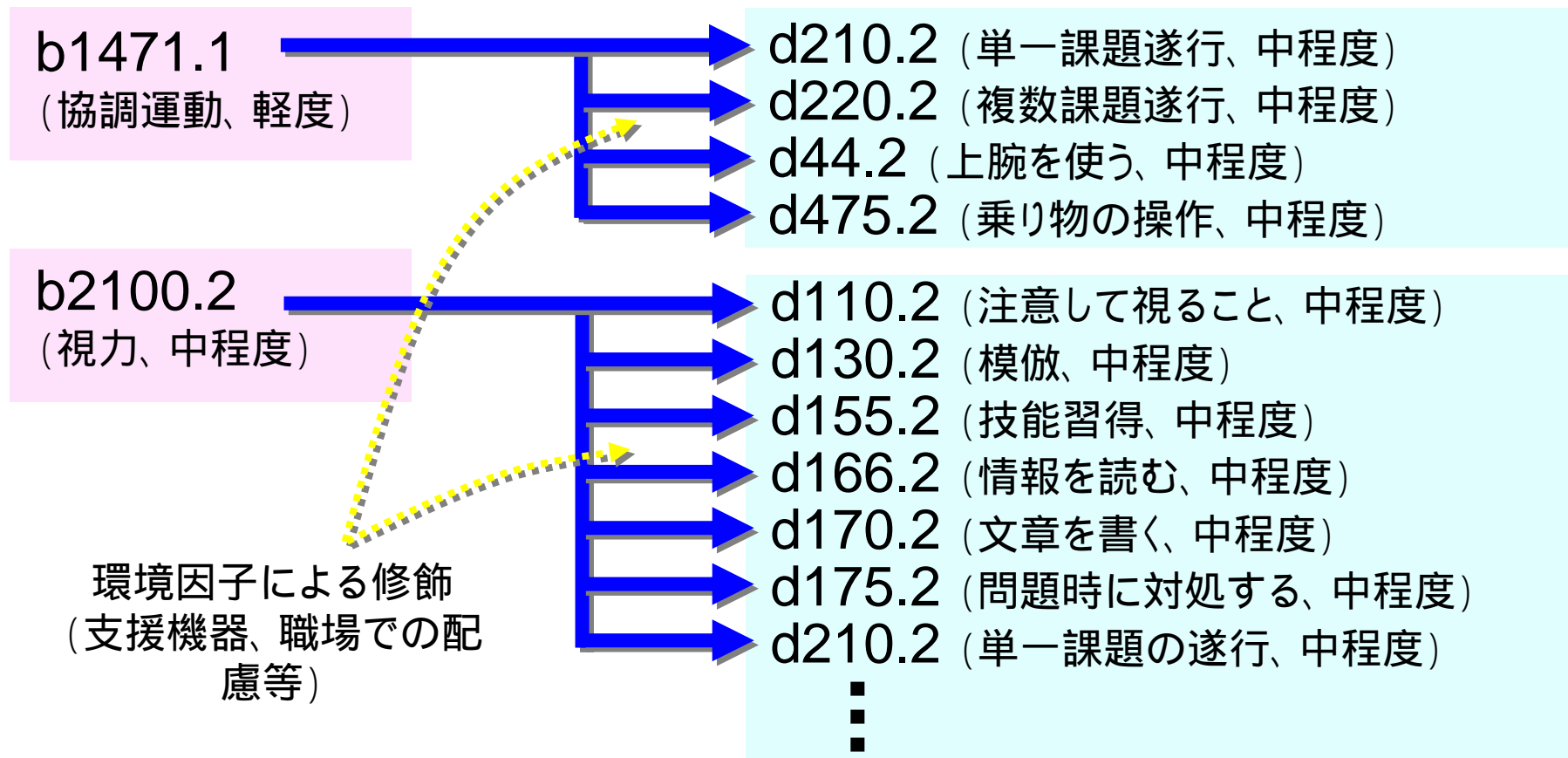
修飾条件
(重症度、病型等)

環境因子による修飾
(職場での配慮、医療サービス等)

「疾患管理上、過労やストレスを避ける必要がある。」

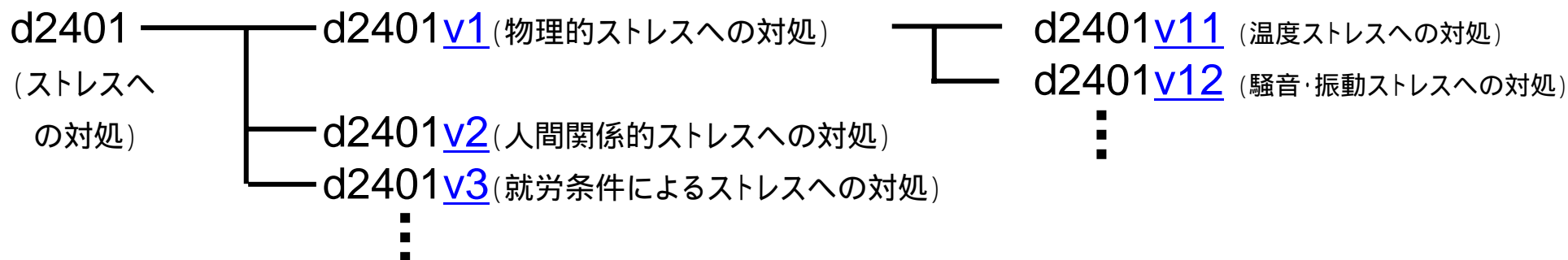
機能障害による活動制限 / 参加制約の データベース化(例)

- ICF bコード(一) 対 ICF dコード(多)



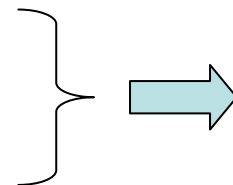
ICFコーディング規則の拡張

- ICFの幹 - 枝 - 葉構造は維持しつつ、詳細情報のためにコードの拡張。




- 心身機能情報 (bコード) と身体構造情報 (sコード) の結合

b7301.1 (一肢の筋力、軽度障害)
s7301.101 (右前腕のわずかな構造障害、
構造に変化なし、)
程度 性質 部位



b7301@s7301.101
(右前腕の軽度麻痺)



チェックリストとしての活用

- 病型や重症度別のデータベースによって、雛型として障害状況を提示し、それを修正することにより、個別的な状況をチェックするという活用方法が考えられる。
 - 特徴的な障害状況への対応
 - 疾患が特定できれば、障害状況をチェックするために、ICFの全てのリストを用いる必要はない。
 - 個別性への対応の必要性
 - 疾患について病型や重症度によって特定した場合でも、その機能障害や活動制限 / 参加制約には個別性がある。



障害者職業総合センター研究部門により試験的に運用されています。

[利用ガイド](#)

[Q&A](#)

[問い合わせ・ご意見](#)

[高障機構HP](#)

[WorkNET\(要登録\)](#)

障害に関わらず仕事ができる社会を目指す全ての方々のための総合的な情報源

各種情報

[障害・疾患情報](#)

[職業情報](#)

[職務情報](#) | [求人情報](#)

[支援情報](#)

・[支援ニーズの予測](#)

・[支援/環境整備方法の検索](#)

・[社会資源の検索](#)

検討結果バインダー

現在、あなたが一時保存している検討結果は次の通りです。

障害・疾患情報

1. [難病>パーキンソン病>...](#)
2. [精神障害>統合失調症>...](#)

職業情報

1. [電話交換手\(電話...](#)

支援情報

1. [メモリーノートの使用](#)

この内容をファイルに保存する

この内容を印刷する

注意: バインダーの内容はブラウザを閉じると失われます。

障害・疾患情報の探索

[各種情報](#) > [障害・疾患情報](#)

このページでは様々な障害や疾患について、医学的な観点からの障害・疾患についてだけでなく、職業場面に関係する不自由や困難さ、制限事項についての基本的情報を提供します。

探索する障害・疾患

[パーキンソン病](#)
[視力障害、3級](#)

[障害・疾患名の追加](#)

[一覧リストから選択](#) | [キーワード検索](#)

障害・疾患による機能障害と活動制限

以下の機能障害や活動制限は、様々な環境因子によって左右されます。これらの障害状況の評価のためには、[可能な支援等の検討](#)を十分に行う必要があります。

表示方法 [通常の職業リハビリテーション評価様式](#) | [ICF様式](#)

[精神的側面](#)

身体的側面

[社会的側面](#)

[職業的側面](#)

[障害程度の変更](#)

身体的側面

「口中での食物の処理」:

軽度に困難

「膝の関節可動性」:

中程度に困難

「皮膚の保護機能」:

中程度に困難

「歩行と移動」:

中程度に困難

「歩くこと」:

中程度に困難

「移動(歩き以外)」:

中程度に困難

支援データベース等との 一体的活用

- 活動制限 / 参加制約のPerformance (実行状況) には、環境因子の関与が大きい。
- 環境因子の関与の程度は定量化が可能である (支援効果の評価分析による)。「支援データベース」として別に構築したものを活用できる。

b210.3

(視覚機能の
重度障害)

e5900v3 (体力や集中力に応じた職務割当)

(問題発生率の比 = 14.8)

e425v3 (積極的な対話、声かけ)

(問題発生率の比 = 13.5)

d2401

(ストレス
への対処)



障害に関わらず仕事ができる社会を目指す全ての方々のための総合的な情報源

各種情報

障害・疾患情報

職業情報

[職務情報](#) | [求人情報](#)

支援情報

- ・[支援ニーズの予測](#)
- ・[支援 / 環境整備方法の検索](#)
- ・[社会資源の検索](#)

検討結果バインダー

現在、あなたが一時保存している検討結果は次の通りです。

障害・疾患情報

1. [難病>パーキンソン病>...](#)
2. [精神障害>統合失調症>...](#)

職業情報

1. [電話交換手\(電話...](#)

支援情報

1. [メモリーノートの使用](#)

この内容をファイルに保存する

この内容を印刷する

注意: バインダーの内容はブラウザを閉じると失われます。

支援情報の一括検索

各種情報 > 支援情報 > 支援ニーズの予測 > 支援検索結果

以下の障害を持つ人と職業の組み合わせによる支援情報の一括検索の結果を示します。

障害を持つ人: [難病>パーキンソン病>...](#)

職種: [電話交換手\(電話...](#)

就労条件: 公共交通機関の利用、8時間勤務、超過勤務、出張

[支援ニーズの予測結果](#)

並び順 [支援効果が高い](#) | [従業員の満足度が高い](#) | [事業主の負担感が少ない](#)

表示方法 [問題 / 課題別](#) | [支援種類別](#) | [支援場面別](#)

有効な支援 / 環境整備の検索結果

(検討や登録をするには各支援項目をクリックして下さい。)

「一般的な課題の遂行」の問題に対して有効な支援 / 環境整備方法

- ・ [作業改善を障害者への支援を行える上司](#) (有--, 満--, 負--; 職場環境整備)
- ・ [選択済 同僚の丁寧な指導](#) (有--, 満--, 負--; 職場環境整備)
- ・ [失敗に寛容、褒める態度](#) (有--, 満--, 負--; 職場環境整備)
- ・ [選択済 作業を細分化し障害者に理解しやすいように工夫\(複数\)](#) (有--, 満--, 負--; 職場環境整備)

「複数課題の遂行」の問題に対して有効な支援 / 環境整備方法

- ・ [選択済 対物的・定型的・簡易・マイペースな作業内容とする](#) (有高, 満中, 負低; 職場環境整備)

「日課の遂行」の問題に対して有効な支援 / 環境整備方法

- ・ [選択済 家族との連携を図った教育訓練](#) (有高, 満中, 負低; 地域環境整備)
- ・ [選択済 定期的なフォローアップ](#) (有--, 満--, 負--; 地域環境整備)

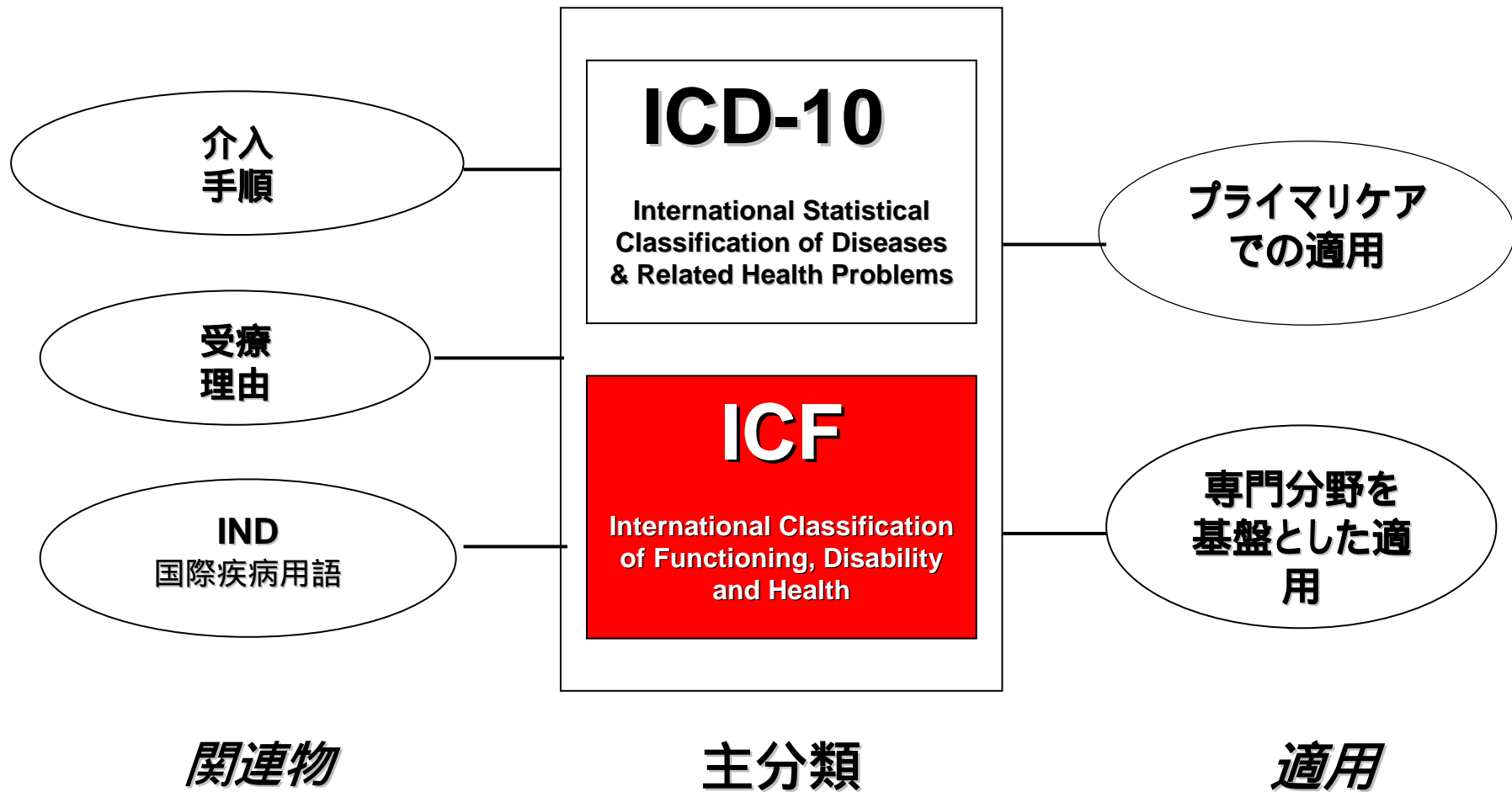
有効な支援 / 環境整備が検索できなかった支援ニーズ

他者に対する援助と思いやり (視覚刺激の識別)
紛争の解決と他者との交渉 (視覚刺激の識別)

選択した支援 / 環境整備をバインダーに登録する

選択した支援 / 環境整備について印刷資料を作成する

WHO国際分類ファミリーでの ICFの位置付け



ICFによるコーディング

例「長期記憶機能の軽度の障害」

Functioningの領域 評価点

b1441.1

心身機能

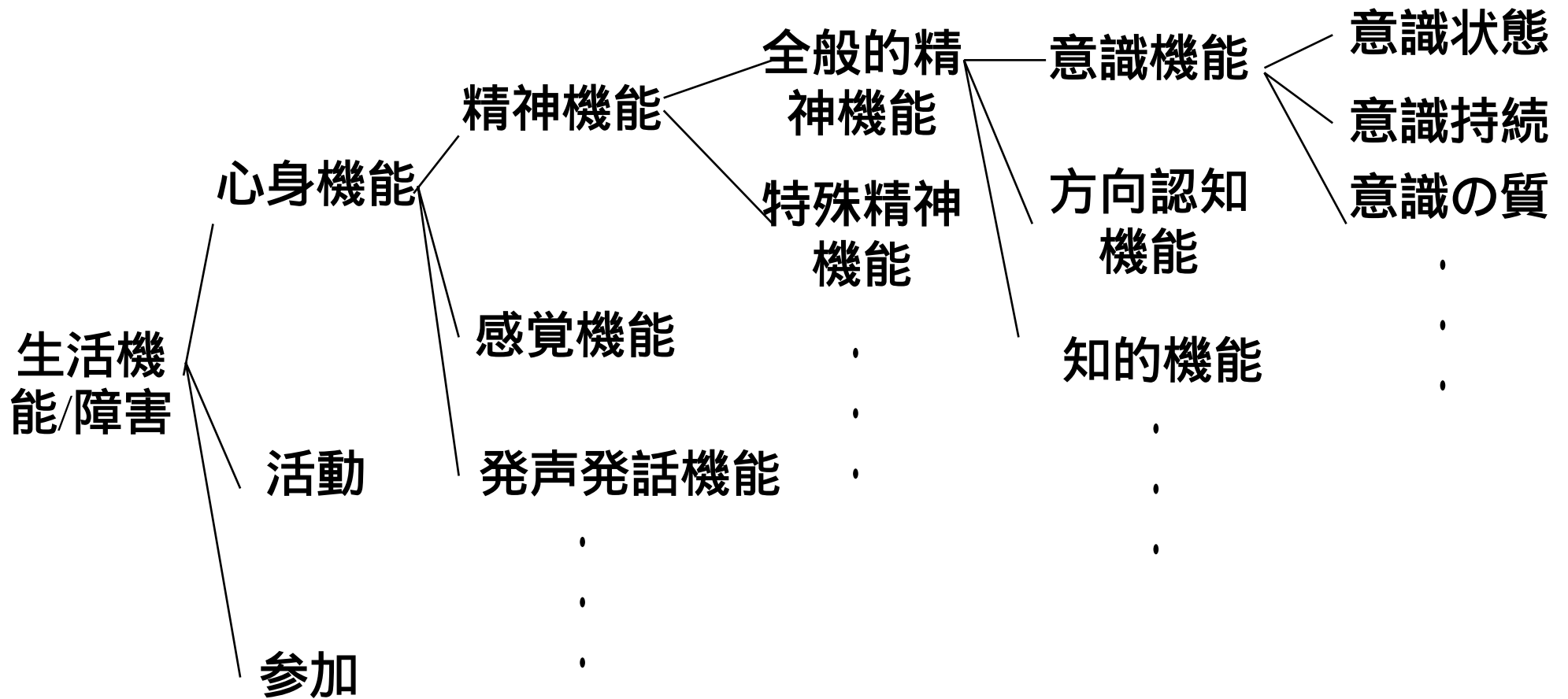
精神機能

記憶機能

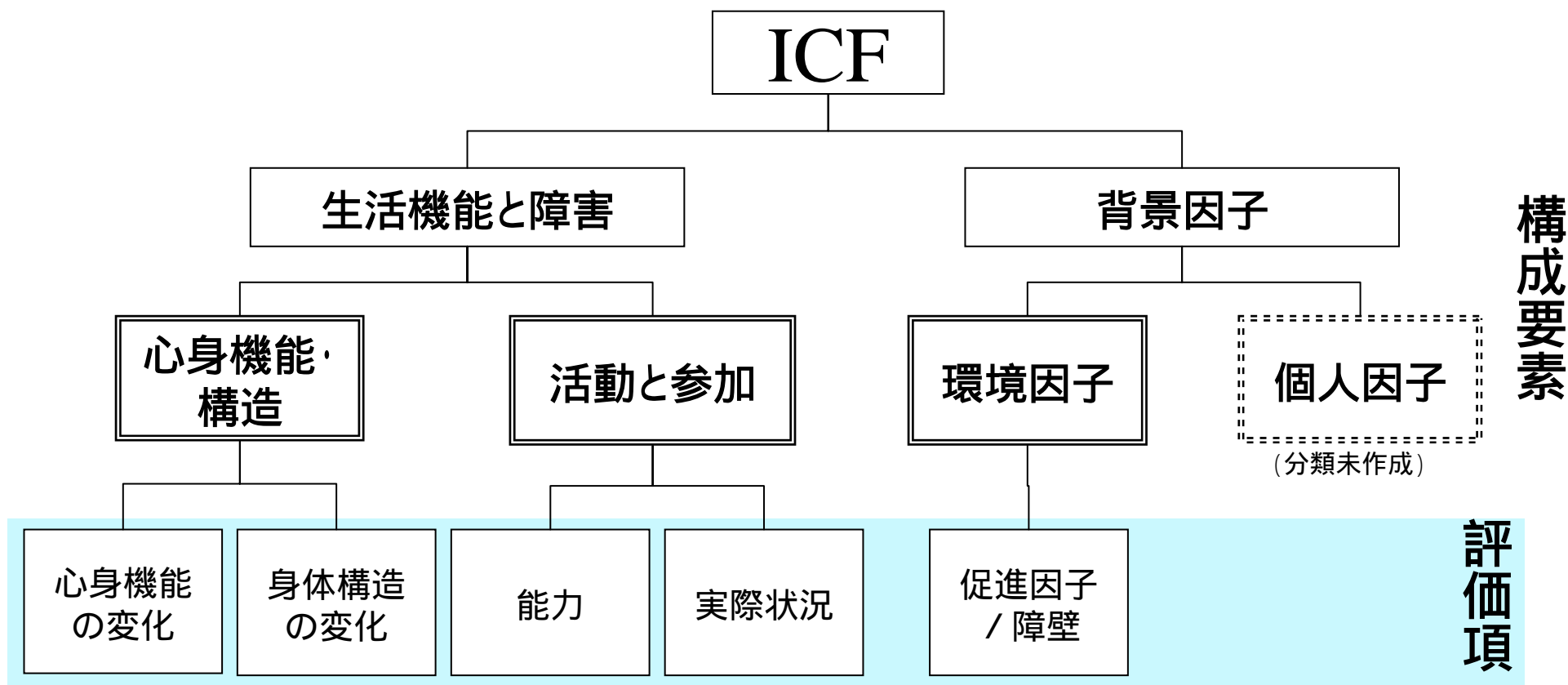
長期記憶機能

軽度の障害

ICFの幹-枝-葉構造



ICF:分類体系としての構造





結語

- ICFにより、難病患者の社会復帰や職業上の支援に対して必要な情報を体系的に記述できるようになることが示唆された。
- ICD-10で記述できる疾患情報に対して、ICFによる生活機能 (Functioning) や障害の情報を対応させたデータベースを構築することによって、ICFの実践的利用が容易にできることが期待できる。

文献 / 連絡先

- WHO: International classification of functioning, disability and health: ICF., 2001. (日本語版: ICF 国際生活機能分類、中央法規出版、2002).
- Stucki G, Cieza A, Ewert T, Kostanjsek N, Chatterji S, Ustun TB: Application of International Classification of Functioning, Disability and Health (ICF) in clinical practice. Disability and Rehabilitation 24(5), 281-282, 2002.
- 春名、松井: WHO国際障害分類を障害者のための臨床現場にどういかすか - 3) 職業リハビリテーションの立場から、PTジャーナル36(1), 31-33, 2002.
- 疾病対策研究会: 難病の診断と治療指針、六法出版社、2001.



春名由一郎 yharuna@jeed.or.jp

独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構

障害者職業総合センター

〒261-0014 千葉市美浜区若葉3 - 1 - 3